

# はばたけ

(財団法人)前川報恩会の資金援助で  
「ツクミンシン」購入!

いよいよ始まる 共作連フキンづくり



(ミシンはうまく使えるかな? とりあえず ポーズ)

障害をもった子ども・仲間たちのふれあいの場としてきた福祉ショップ「ゆうの家」が、新たな発達の要求に合わせ、作業場をプラスすることになりました。

内容は、仕事の安定・将来・独自性を考え、今「ゆうの家」で販売している『共作連フキン』の縫製です。

直線縫い・ロックと二種類のミシンを使うので、一番不安であった安全性については、二月下旬、フキンを作っている「あさやけ作業所(東京小平市)」を中山会長・早乙女の子らさん・芹沢さん(仲間)が見学・体験をし、工

No.25  
発行日 1989.7.20

「共作連」の自立を促す会  
発行者 中山全央  
編集者 高木文江  
発行所 東京都葛飾区  
03-563-3366

夫しだいで十分保障される事がわかり、仕事の内容も ①布地を折る ②直線縫い ③ロックか ④袋づめと工程も多く、能力にあわせて作業が出来ることも判りました。

幸いなことに「財団法人・前川報恩会」からロックミシン購入援助資金として四十万円をいただき、予定よりも早く、六月には中古の工業用ミシンとあわせ練習縫いが始まりました。

フキンは昨年の県内実績からみて三千枚は必要ですが、人出不足と慣れないため、なかなか思うように進みません。ミシンを使つたことのある方、興味のある方はぜひ、私たちと一緒に工夫に参加していただけないでしょうか。連絡をお待ちしています。

高木 文江

## ボランティア大募集

サマースクールを手伝って  
くれる方を募集しています。

連絡先 23-3236  
(中山まで)



1992年度  
療育くんれん

日程 8月21日~22日  
(朝、8時頃出発予定)

宿泊 いわき簡易保険センター

参加費 おとな 10,000 円  
子ども 8,000 円

定員 22名 (参加希望者は、早めにお申し込み下さい)

\* バスは栃木社協のマイクロをお借りしました。見学先は、現地(いわき市)の粉せつけん等をつついている施設を予定しています。

## サマースクール

日程決まりました

7月 ②① ②④ ②⑧ ③①

8月 ④ ⑦ ①⑧ ②⑤

の8日間(毎週火曜と金曜)

午前10時から午後3時まで

場所 自立の会 事務所です。(右図)

作業内容 (木工がき  
共作連フキン  
民間しんぶん折り etc)

対象者 障害をもっている人とその家族

(当日の弁当、エプロン、着替えなどは、各自ご用意ください。)

三三 三三  
そうめん 扱っています。  
お中元、お土産にぜひご利用ください。

1,000 円  
2,000 円  
3,000 円



# 「村づくり」考

その一

はじめに・・・ここに(ワープロ)一台がやっとおけるスペースしかない机がメインの私の"書斎"に)、一九九一年二月七日"付の原稿用メモ"があります。その冒頭は、「へ自立をめざす会」(ニューズ原稿(案))と書いてあります。そうです！今から書こうとしている文章は、半年以上も前に中山会長に依頼され、「早く書かねば……」と思いつけていた、その原稿に他なりません。そこで言い訳させてもらうわけですが、これから述べようとするところを一回のニューズに書こうとしたことがそもそもの間違いでした。書かなくてはならないことが最低でも、数回のニューズ紙面でも書ききれないのに、それを一気に何とかしようとしたことに根本的な情勢判断のミスがあり、結局今日まで何の原稿も送ることが出来ずじまつたのです。今回ニューズ編集担当者から、「数回に分けてもいいから？」とお話があり、「何とかなるかな？」

激励をお願いしつつ、少しでも「めざす会」の会員の皆さんが、今後の運動を一層前進させていくことに貢献できるメツセージにできればと考え、これからの筆を進めたいと思っています。毎回、文章の長短や内容に波があらうかと思いますが、それは我慢してお付き合い下さい。そして、あくまで「運載物」として保管いただき、最終回に通して読んでいただいた時に、少しで

① 「自立をめざす会」の目的は、「地域に土着し、地域の人々と共に生きる喜びを享受できる、障害者の村づくりを目指すこと」です。障害者の村づくり員として生活の場を保障しあえるよう、本人と親兄弟、友人地域の人々と手をつなぎ、理解し合う」と表明されています。(『はばたけ1』へ発会にあたってより)

ところで、私が聞きかじったところによると、「障害者の村づくり」といったそのイメージや具体的中身に ついて、当初めざす会関係者のなかで、し

共同作業所全国連絡会  
調査研究員 眞良

菅井 真良



紙にうがい見通して、今改めて原稿用紙に向かっています。(もちろんもう一方で、学校卒業まじがで「そんな悠長な話には付き合っていない」という方も多いと思います。その際は私の力不足ですので、お許しを乞うしか今の私には出来ないことをご了承ください)

お陰さまで毎日を忙しく過ごさせていたでいる私です(へとはいっても、徹夜れんちゃんでの「牛歩」をせざる得ない代議士先生にはとても及びませんが)、それでもらったつまづく時があるかと思えます。その時には売れっ子作家なみに、編集者の叱咤

も皆さんの学習資料として役立っていたらいいならば、この上ない幸いに存じます。

では早速、「すべての障害者がその生涯を、地域で主権者として豊かに、自立して生きていくことができる方策はどうあるべきか」というテーマを軸に、日本の法制度の現状を学習しながら考えていきたいと思います。

## ① 『村づくり』とは何か？



つかりとした認識の一致をみていないか経過があった。もちろん、会を結成した先駆的な意義と役割については、何ら矛盾があるとは思いません。むしろ、障害者・家族が自主的・主体的にこころした夢や理念をかかげて会(＝要求運動体)を結成した事実こそ、大きく評価されるものです。そこで最初、私なりに「障害者の村づくり」といった時の、そのイメージを述べてみたいと思えます。

### 今回のパザールに思う

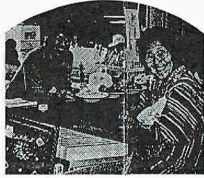
殿塚 治

六月二十一日(日)、柳橋町公民館において恒例のパザールを開催しました。当日は朝から雨で、残念ながらもお客様も少なく売り上げも最低目標に届きませんでした。

今回のパザールは本来もつと以前に開催される筈でしたが、この日に延びてしまったとは言えなかったように思います。特にPR活動が不足していたように思っています。お客様が少なかったのは雨のせいだけではなかったようです。

一方で特筆すべきは、今回初めて手伝ってくれた会員がいたことです。多くの会員が参加してこそパザールも意義あるものになっていくと思います。また毎回協力してくる会員も多くなります。前回ラーメンの玉を出してくれた朝日屋さんは、今回焼ソバを焼いて出していただきました。販売したり、皆で昼食においしく頂きました。

売上げ しめて  
103,100 円  
ご協力 ありがとう!!



多くの人に支えられた活動が何より重要です。次回のパザールはもっと多くの人の協力を得るとともに、もっと日常から準備をしていかなければ成功しないと思えます。

自分の反省を含めて今後とも会員の皆様のご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございました。



- 毛紙紙店 木村屋履物店 金坂久子
- 古川鐵三郎 稲葉かおる 伊藤敏子
- 木村豊太郎 かみや薬品 加藤悦子
- 林知世 田代放江 篠山 笠原工房
- 牧谷昌 川嶋幸雄 鶴崎インテリア
- 横倉治子 眞研究所 宇都宮ダスキン
- 新沢トミ江 明花園 大阿久江里子
- 小花敏雄 根本 隆浩 柴田栄吉
- 能澤清重 中島ハル 大川節子
- 玉田明子 萩原真弓 大橋
- とちぎコープ ウツマ班
- ギンナ班 ヤシマA班
- ツツク